

「再エネ等由来の電力を活用した水電解による水素製造」プロジェクトに関する意見

令和8年6月26日

産業構造審議会グリーンイノベーションプロジェクト部会
エネルギー構造転換分野ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、プロジェクト担当課室、NEDO、各実施企業等におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

1. プロジェクト全体・各実施企業等共通

- 政策当局においては、水電解で製造された水素に対して、グリーン価値の見える化を図るための認証制度等について検討いただきたい。
- 政策当局においては、日本企業が技術だけでなくビジネスでも勝てるよう、拠点整備や標準化戦略等を含め、社会実装に向けた支援を一気通貫で進めていただきたい。
- 政策当局においては、競争力やグローバル市場の観点から期待できる製品や技術分野にフォーカスしていくことも検討いただきたい。
- 実施企業等においては、自らが主体的かつ積極的にビジネス戦略を描いていただきたい。また、政策当局においては、民間主体で事業が進むような働きかけを強化いただきたい。
- SOECの開発・実証に係る取組追加については、SOECの持つ強みや、共電解ではなく水素製造とする意義について整理のうえ、他分野連携の可能性を含め、日本全体で勝ち筋になれる戦略を検討いただきたい。
- JH2A（水素バリューチェーン推進協議会）をはじめとした関係団体や企業等と間で、規制や評価方法等の水素に係る幅広い議論が共有され、国際的な標準化戦略の議論が可能な体制を構築いただきたい。

2. 各実施企業等

① 山梨県企業局

- 海外の水電解装置メーカーによる社会実装が急激な勢いで進行している状況において、自らの競争優位性や勝ち筋をより明確に示していただきたい。
- 標準化活動に関しては防衛的な活動が多いように見受けられるが、実際の規制緩和への能動的な働きかけや、他国を牽制できるような標準化に係る議論をできる体制構築を進めていただきたい。
- コンソーシアムとして、装置・運転・規制の三位一体の出口戦略、標準化戦略を検討いただきたい。

- 県民の資金も投入されているところ、今後どのような形で回収していくのかを「やまなし水電解装置カンパニー」のガバナンスも含めて、引き続き検討いただきたい。

② カナデビア株式会社

- 海外の水電解装置メーカーによる社会実装が急激な勢いで進行している状況において、自らの競争優位性をより明確に示していただきたい。
- 特に、海外勢が徹底した低コスト化による市場獲得を推し進めることが予測される中で、勝ち筋となるビジネスモデルを明確に示していただきたい。
- コンソーシアムにおける方針とは別に、個社戦略としての標準化に係る検討状況や推進体制についても示していただきたい。
- アルカリ型とは競合する技術であるが、標準化の観点で協調できる課題について、その有無を含めて検討いただきたい。

③ 旭化成株式会社

- 海外の水電解装置メーカーによる社会実装が急激な勢いで進行している状況において、自らの競争優位性をより明確に示していただきたい。
- 特に、海外勢が徹底した低コスト化による市場獲得を推し進めることが予測される中で、勝ち筋となるビジネスモデルを明確に示していただきたい。
- 海外市場における標準化戦略について、明確に示していただきたい。
- PEM 型とは競合する技術であるが、標準化の観点で協調できる課題について、その有無を含めて検討いただきたい。

④ 国立研究開発法人産業技術総合研究所

- 水電解の評価方法に係る標準化について、各社の具体的な試験条件の要望を踏まえつつも、個別のニーズの実現ではなく、産総研として真に志向すべきと考える標準について検討いただきたい。
- 特に、先行して需要が拡大する競合国の規格制度の分析を含めた標準化の戦略について、主体的に検討を進めていただきたい。

以上